## 地下水の揚水施設の構造等

揚水施設の構造	名称又は番号								
	設置・変更予定 年 月 日				年	月	日		
	さく井 年 月 日 (既設揚水施設は使用開始日)				年	月	日		
	深度(地表面下 m ) ・側管口径(mm)			深度	m,	側管	<sup>;</sup> 口径	mm	
	ストレーナーの位置 (地表面下 m )			$^{m\sim}_{m\sim}$	m、 m、		$^{m\sim}_{m\sim}$	m m	
揚水機	種 類・名 称・形 式								
	原動機の出力・揚水能力				kw			L/分	
	吐出口断面積			cm <sup>2</sup>					
水量測定器	種 類・名 称・形 式								
	検定年月日								
地下水位	計測方法(計器名称)								
	静止水位、揚水水位 (地表面下 m )			静止水位		m、揚	水水位	m	
地下水揚水量				m	3以下/1	日平均		<b>m</b> ³以下/月	甲均
	地下水の用途								
施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計									
変更前	施設数、吐出口 断面積の合計				本			$cm^2$	
	地下水揚水量の合計			<b>m</b> ³以下	/1 日平均	j	n	<b>1</b> 3以下/月平	均
変更後	施設数、吐出口 断面積の合計				本			cm <sup>2</sup>	
	地下水揚水量の合計			<b>m</b> ³以下	/1 日平均		n	<b>1</b> 3以下/月平	均
	施設担当者 名・氏名・住所・連絡先								

- 注意 1 必要に応じ図面を添付すること。 2 複数の揚水施設の設置(変更)の場合は、本様式を揚水施設ごとに作成のこと。ただし、「施設数、吐出口 断面積の合計、地下水揚水量の合計」の欄については、1枚目に記入し、2枚目以降には記入しないこと。 3 完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。